

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第5区分

【発行日】平成30年11月29日(2018.11.29)

【公開番号】特開2018-162058(P2018-162058A)

【公開日】平成30年10月18日(2018.10.18)

【年通号数】公開・登録公報2018-040

【出願番号】特願2018-45325(P2018-45325)

【国際特許分類】

B 6 0 N 2/68 (2006.01)

B 6 0 N 2/56 (2006.01)

B 6 0 H 1/00 (2006.01)

【F I】

B 6 0 N 2/68

B 6 0 N 2/56

B 6 0 H 1/00 1 0 2 V

【手続補正書】

【提出日】平成30年10月19日(2018.10.19)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

対向した状態で離間して配置された一対の対向フレームと、前記一対の対向フレームの間に配置され、着座者からの荷重を受ける支持部材と、前記支持部材に対し着座者側とは反対側に配置された送風装置と、一端部が前記送風装置に接続されたダクトと、を備え、前記ダクトの他端部は、前記支持部材の左右方向の中央に対し左または右に偏った位置から前記支持部材の着座者側に突出していることを特徴とする乗物用シート。

【請求項2】

前記送風装置は、前記支持部材の左右方向の中央に対し左右方向の前記ダクトの他端部が位置する側に偏って配置されていることを特徴とする請求項1に記載の乗物用シート。

【請求項3】

前記支持部材は、板状であり、前記ダクトが通ることが可能な貫通孔を有し、前記貫通孔は、左右方向に並んで2つ設けられていることを特徴とする請求項1または請求項2に記載の乗物用シート。

【請求項4】

前記一対の対向フレームは、シートクッションのフレームを構成する左右のサイドフレームであり、

前記シートクッションのフレームは、前記左右のサイドフレームの前部同士を連結するパイプ状のフロントフレームおよび板状のパンフレームを有し、

前記支持部材は、前記フロントフレームに取り付けられていることを特徴とする請求項1から請求項3のいずれか1項に記載の乗物用シート。

【請求項5】

前記支持部材は、前記ダクトが通ることが可能な貫通孔が形成されたベース部と、前記ベース部から左右方向外側に延びる支持部とを有し、

前記貫通孔は、左右方向に直交する方向において前記支持部と重なる位置に配置されていることを特徴とする請求項1から請求項4のいずれか1項に記載の乗物用シート。

【請求項 6】

前記支持部材に取り付けられた着座センサを備え、

前記支持部材は、板状であり、前記ダクトが通ることが可能な貫通孔を有し、

前記貫通孔は、前記着座センサの取り付け部分を避けるように配置されていることを特徴とする請求項 1 から請求項 5 のいずれか 1 項に記載の乗物用シート。

【請求項 7】

前記着座センサは、左右方向に直交する方向において前記貫通孔と重なる位置に配置されていることを特徴とする請求項 6 に記載の乗物用シート。

【請求項 8】

前記貫通孔は、左右方向に並んで 2 つ設けられており、

前記着座センサは、2 つの前記貫通孔の間に配置されていることを特徴とする請求項 6 または請求項 7 に記載の乗物用シート。

【請求項 9】

前記支持部材の着座者側とは反対側を通る複数のハーネスを備え、

前記複数のハーネスは、前記送風装置および前記ダクトを避けるように配置されていることを特徴とする請求項 1 から請求項 8 のいずれか 1 項に記載の乗物用シート。

【請求項 10】

着座者側の面に形成された通気孔と、前記通気孔に連通する通気路とを有するパッド材を備え、

前記ダクトの他端部は、前記通気路に接続されていることを特徴とする請求項 1 から請求項 9 のいずれか 1 項に記載の乗物用シート。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0005

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0005】

そこで、本発明は、着座者からの荷重を送風装置にかかりにくくすることができる乗物用シートを提供することを目的とする。

また、送風装置の取付自由度を向上させることを目的とする。

また、シート内のスペースを有効に利用することを目的とする。

また、送風装置の動作に伴う振動や雑音を低減することを目的とする。

また、着座者に伝わる送風装置の動作音を低減することを目的とする。

また、送風装置の取付剛性を向上させることを目的とする。

また、シートをコンパクト化することを目的とする。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

前記した目的を達成するための乗物用シートは、対向した状態で離間して配置された一対の対向フレーム、および、前記一対の対向フレームを連結する第 1 連結フレームを有するフレーム部材と、前記一対の対向フレームの間に配置され、着座者からの荷重を受ける板状の支持部材と、送風装置と、を備え、前記送風装置は、前記支持部材に取り付けられ、一部が前記第 1 連結フレームの着座者側とは反対側に配置されていることを特徴とする。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0025

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0025】

また、送風装置の少なくとも一部をブラケットを介して支持部材に取り付けることで、送風装置の取付自由度を向上させることができるとともに、シート内のスペースを有効に利用することができる。

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0026

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0026】

また、送風装置を支持部材を構成する樹脂部材に取り付けることで、送風装置の動作に伴う振動や雑音を低減することができる。

【手続補正6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0027

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0027】

また、樹脂部材に送風装置の少なくとも羽根車を覆う壁を設けることで、着座者に伝わる送風装置の動作音を低減することができる。

【手続補正7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0028

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0028】

また、送風装置を樹脂部材に設けられたボスに取り付けることで、送風装置の取付自由度を向上させることができる。

【手続補正8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0029

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0029】

また、ボスを一対の対向フレームの対向方向における架設線材の両側に配置することで、送風装置の取付剛性を向上させることができる。

【手続補正9】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0030

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0030】

また、樹脂部材に送風装置に接続されたダクトが通る貫通孔を設けることで、シートをコンパクト化することができる。

【手続補正10】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0031

【補正方法】変更

【補正の内容】**【0031】**

また、送風装置を樹脂部材の傾斜部の下に配置することで、シートをコンパクト化することができる。

【手続補正11】**【補正対象書類名】明細書****【補正対象項目名】0032****【補正方法】変更****【補正の内容】****【0032】**

また、送風装置の前側部分をブラケットを介して支持部材に取り付け、後側部分を支持部材に直接取り付けることで、送風装置の取付自由度をより向上させることができるとともに、シート内のスペースをより有効に利用することができる。